

(大通公園西周辺エリア)アンケート調査

1. 調査概要

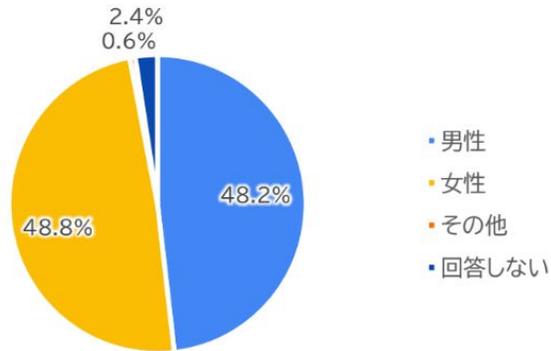
調査期間	令和7年9月12日(金)～令和7年10月10日(金)
調査対象者	当エリアの利用者(居住・通勤・通学・来訪)
調査方法	調査票の配布、周辺施設へのポスター掲示
回収結果	166件



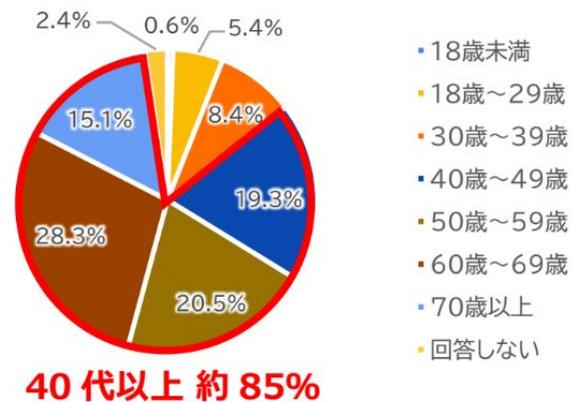
2. 調査結果

(1) 回答者属性

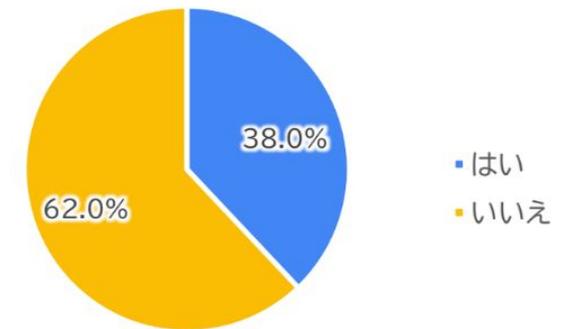
Q1 あなたの性別をお答えください。 n=166



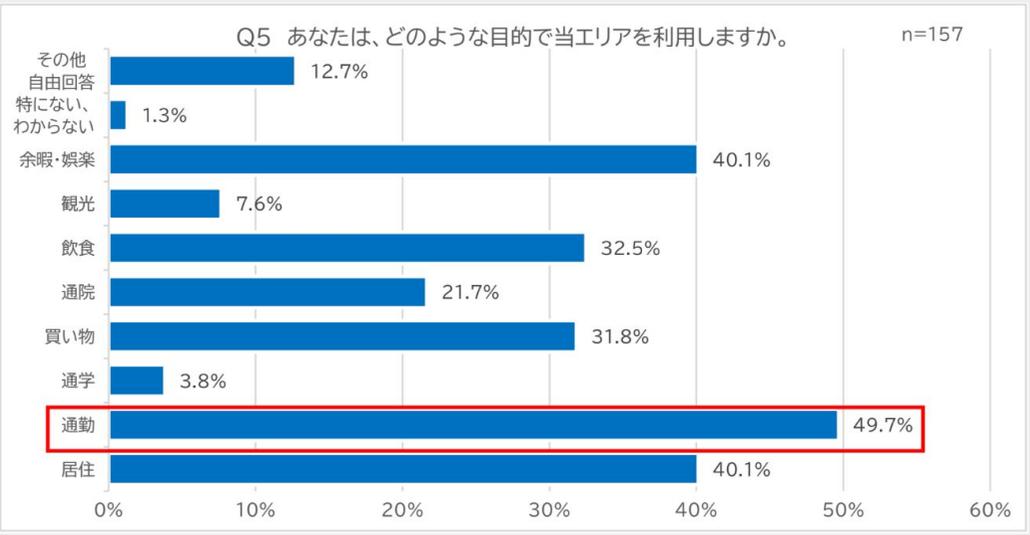
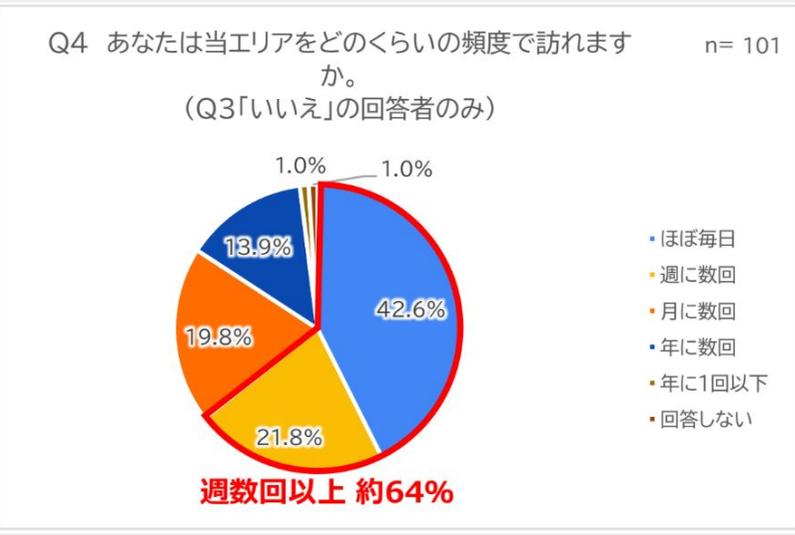
Q2 あなたの年代をお答えください。 n=166



Q3 あなたは現在、当エリアに居住していますか？ n=166



(2) 当エリアの利用状況

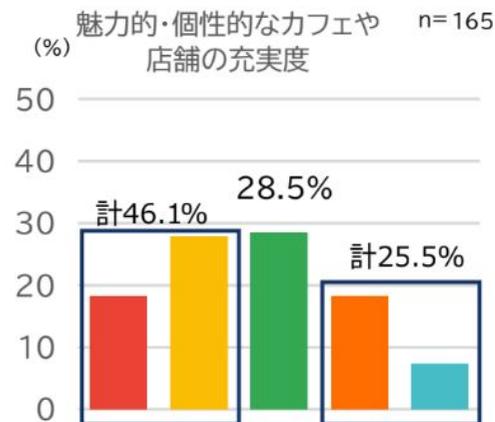
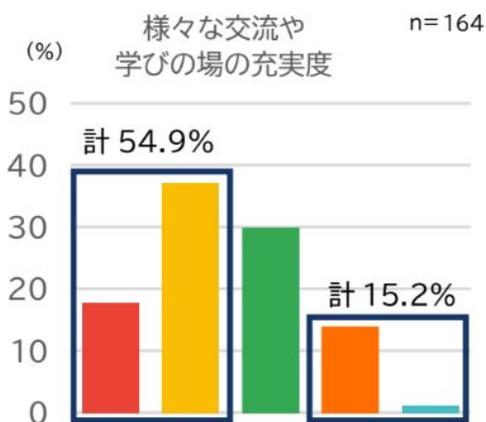
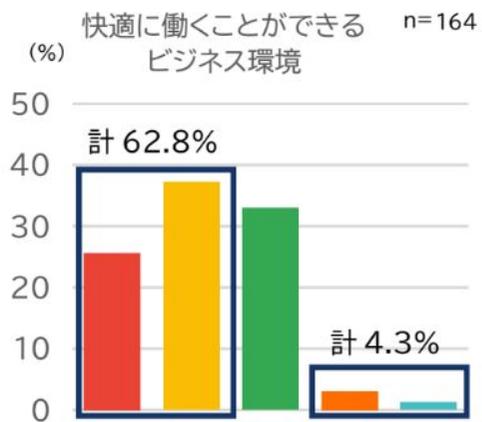
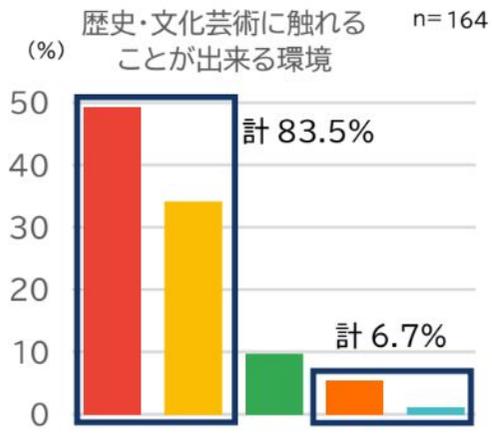
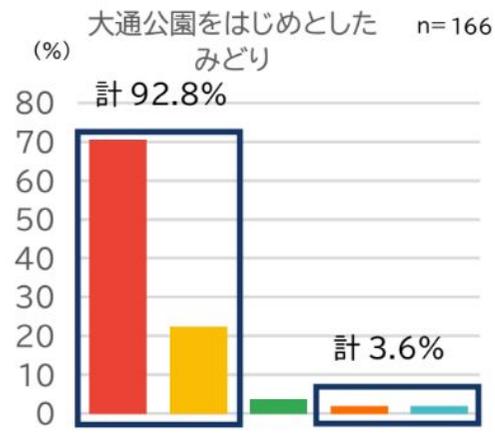
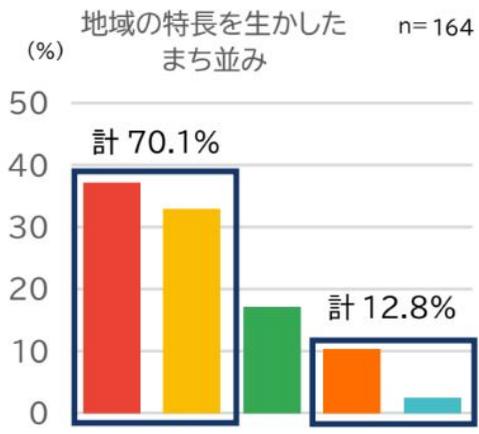
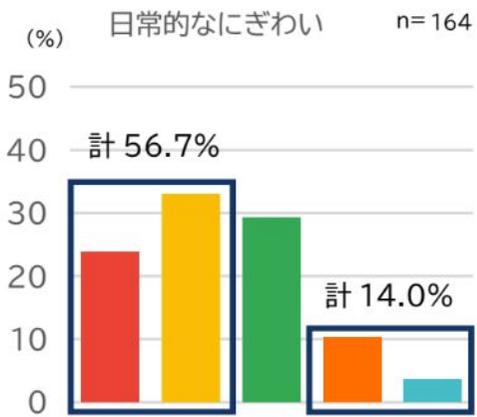


「 <Q5 その他回答(自由回答)>
・散歩、憩い
・交流

- 来訪頻度は週に数回以上訪れる方が約64%と、日常的に当エリアを訪れている方が多い。
- 利用目的は「通勤」が最も多く、次いで「居住」、「余暇・娯楽」、「買い物」、「飲食」が多い。

(3)当エリアの魅力と課題

①魅力と捉えられる項目



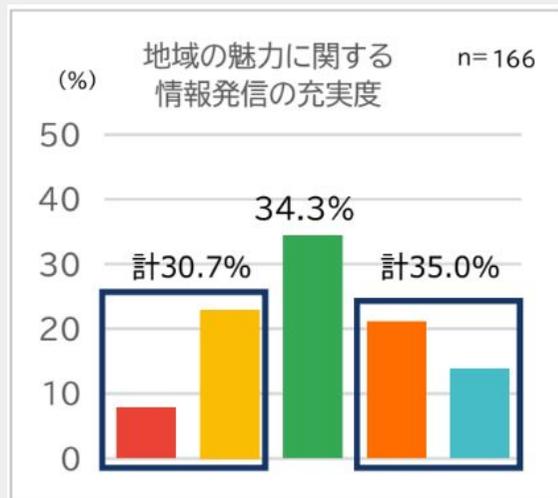
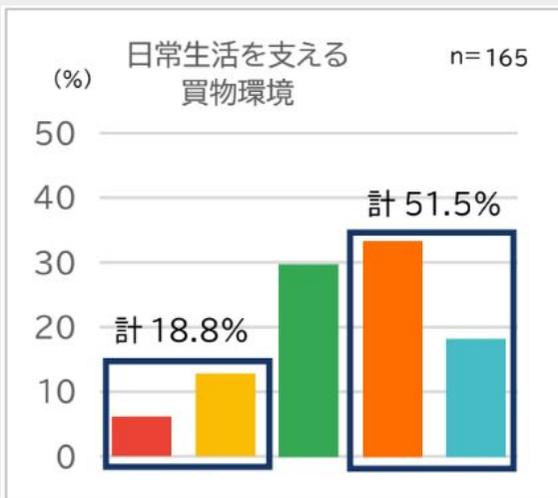
凡例

- 魅力と感ずる
- どちらかと言えば魅力と感ずる
- どちらともいえない
- どちらかと言えば課題と感ずる
- 課題と感ずる

●「みどり」、「歴史・文化芸術」は80%以上が魅力と感じており、「なにぎわい」、「街並み」、「ビジネス環境」、「交流・学びの場」についても、50%以上が魅力と感じている。

●「魅力的・個性的な店舗の充実度」は約46%が魅力と回答しており、どちらかと言えば魅力と感ずる傾向にある。

②課題と捉えられる項目

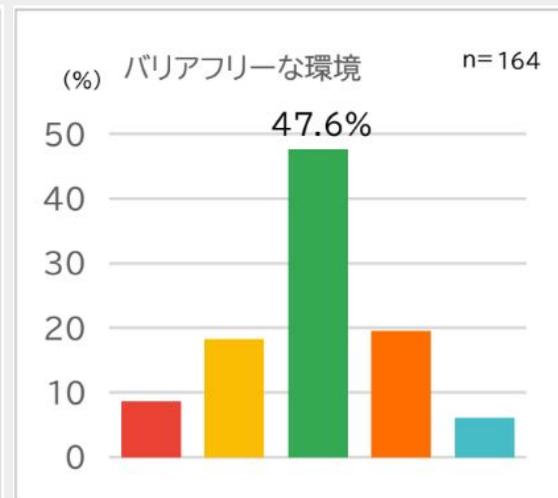
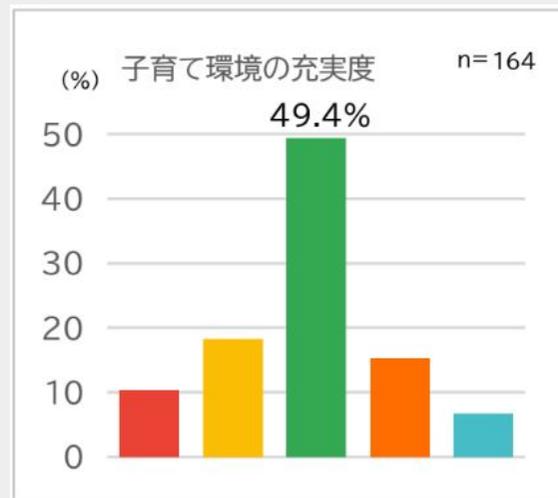


凡例

- 魅力と感ずる
- どちらかと言えば魅力と感ずる
- どちらともいえない
- どちらかと言えば課題と感ずる
- 課題と感ずる

- 「日常生活を支える買い物環境」は約51%が課題と感じている。
- 「情報発信」は約35%が課題と回答しており、どちらかと言えば課題と感ずる傾向にある。

③どちらともいえない項目



凡例

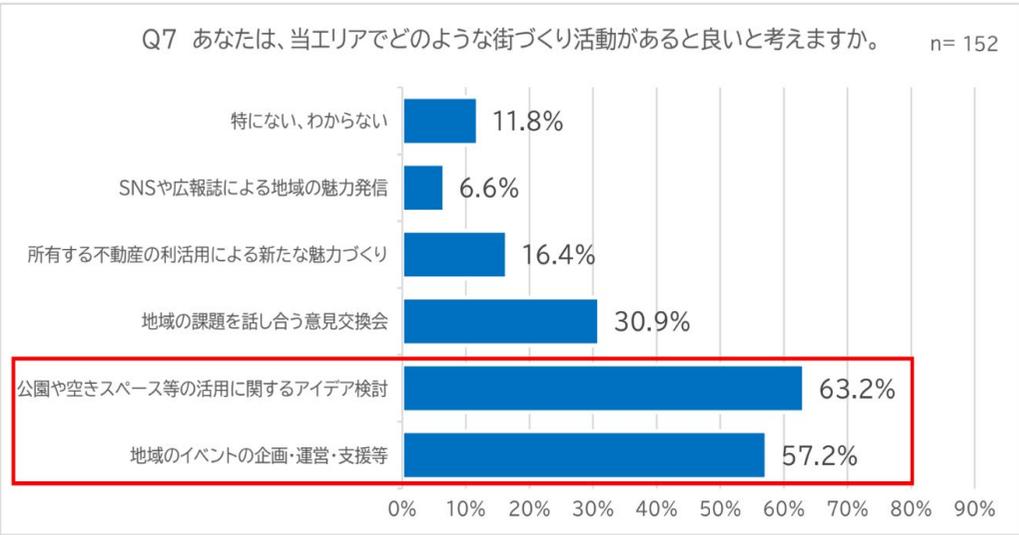
- 魅力と感ずる
- どちらかと言えば魅力と感ずる
- どちらともいえない
- どちらかと言えば課題と感ずる
- 課題と感ずる

- 「子育て環境」、「バリアフリー環境」は約50%がどちらともいえないと回答しており、魅力とも課題ともいえない項目となっている。

＜Q5 その他回答(自由回答)＞

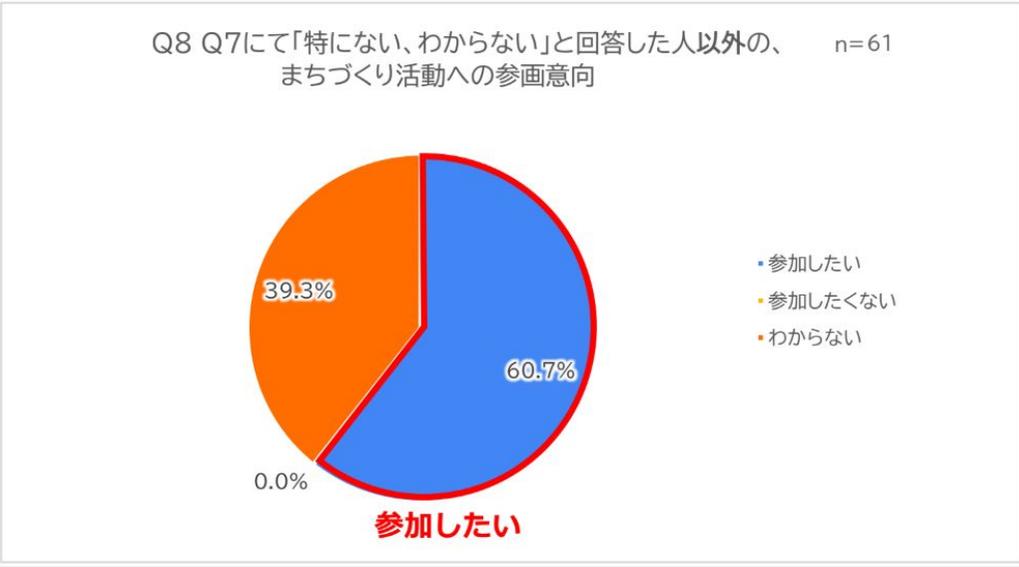
- ・交通マナーや公園利用マナーに課題を感ずる

(4) 当エリアで必要と考えるまちづくり活動



●「公園や空きスペース等の活用に関するアイデア検討」、「地域のイベント企画・運営・支援等」の回答が50%を超えている。

(5) まちづくり活動 への参画意向



●60%以上がまちづくり活動に参加したいと回答している。